

つくば市産タケノコ

4月13日～16日に3農場9検体のタケノコの放射能検査を実施したところ、いずれも食品衛生法の新基準値「放射性セシウム100Bq/kg」以下であることを確認しました。

農産物の放射能測定結果(4月分)【つくば店】タケノコ

店名	測定日	品目	区分	市町村	地区名	生産者名	核種 単位(Bq/kg)				検出限界	定量下限	測定時間	規制値	分析機関	参考	乾物		判定	
							I-131	Cs-137	Cs-134	Cs合計							K-40	重量変化率		水分補正後
1	つくば	4/13	タケノコ	山菜	露地	つくば市	柳橋	みずほ農場	不検出	37±4	22±3	59±5	15.3	14.9	30分	100	みずほ	226±21		○
2	つくば	4/13	タケノコ	山菜	露地	つくば市	苅間	高野	不検出	36±4	26±3	62±5	15.3	15.4	30分	100	みずほ	228±24		○
3	つくば	4/13	タケノコ	山菜	露地	つくば市	島名	中根	不検出	41±4	28±3	70±5	15.3	15.6	30分	100	みずほ	242±23		○
4	つくば	4/13	タケノコ	山菜	露地	つくば市	苅間	高野	不検出	23±4	19±3	42±5	14.4	14.5	30分	100	みずほ	238±20		○
5	つくば	4/13	タケノコ	山菜	露地	つくば市	柳橋	みずほ農場	不検出	48±4	30±3	78±5	15	15	30分	100	みずほ	302±20		○
6	つくば	4/16	タケノコ	山菜	露地	つくば市	島名	中根	不検出	36±3	22±3	58±4	13.2	15.5	30分	100	みずほ	153±24		○
7	つくば	4/16	タケノコ	山菜	露地	つくば市	苅間	高野	不検出	21±3	16±3	36±4	12.3	15	30分	100	みずほ	199±21		○
8	つくば	4/16	タケノコ(大)	山菜	露地	つくば市	柳橋	みずほ農場	不検出	29±4	21±3	50±5	13.5	15.7	30分	100	みずほ	169±23		○
9	つくば	4/16	タケノコ(小)	山菜	露地	つくば市	柳橋	みずほ農場	不検出	48±4	33±3	80±5	14.7	15.8	30分	100	みずほ	160±26		○

※測定方法「TN300Bベクレルモニター 検出器:高感度NaI(Tl)シンチレータ3インチを使用」(テクノエーピー社製)
 ※一次スクリーニングとしての測定値です。

用語解説

I-131	放射性ヨウ素131 物理学的半減期8.04日 原発事故当初に問題になった核種 平成23年4月20日以降検出されていません。
Cs-137	放射性セシウム137 物理学的半減期30年 体内に入った場合の実効半減期99日(1歳児の場合新陳代謝が盛んなため生物学的半減期は9日程度と言われています。)
Cs-134	放射性セシウム134 物理学的半減期2.1年 実効半減期88日
検出限界	測定した試料の中に放射性物質が「ある」か「ない」かを判断できる限界の量。(正味計数率)±(計数誤差)で、正味計数率が計数誤差の3倍を超えた場合を検出と判定しています。
定量下限	測定を行って得られた値が「十分な信頼性」を持つ下限の量。検体の密度と重量に依存しています。
測定時間	測定値の信頼性を高めるためには十分な測定時間が必要です。20分以上の計測時間をとるようにしています。
規制値	平成24年4月1日より一般食品の放射性セシウムの基準値が100Bq/kg。堆肥・培土の暫定許容値400Bq/kg。飼料の暫定許容値300Bq/kg。きのこ原木の指標値50Bq/kg。きのこ菌床の指標値150Bq/kg。
K-40	原発事故とは関係なく、天然カリウム中に少量(0.017%)存在するカリウムの同位体。半減期は12.48億年。
重量変化率	干しいたけや切干大根等の乾燥食品の場合、測定値を重量変化率で割った値が、当該食品の分析値になります。
水分補正後	この数値が規制の対象になります。

つくば市の出荷農家のタケノコの放射能測定を行いました。

4月13日～16日に3農場9検体の検査を実施したところ、いずれも食品衛生法の新基準値「放射性セシウム100Bq/kg」以下であることを確認しました。4

測定しての傾向として、大きめのタケノコからは低い値になっています。

ちなみに、100Bq/kgの「タケノコ」を500g(中くらいのタケノコ可食部1本分)をそのまま食べた場合の影響を計算しますと、(セシウム134と137の割合を4:6と仮定します)

最大で $40 \times 0.019 \times 0.5$ (Cs134の換算係数) + 60×0.013 (Cs137の換算係数) $\times 0.5 = 0.15\mu\text{SV}$ になります。

原発事故とは関係ない普通の時、食品による内部被ばくを $410\mu\text{SV}$ /年受けています。

年間の被ばく量より0.037%増えることになります。

とはいえ「タケノコ」は茨城県内の他の市町村では出荷規制を受けているところもありますので、今後もタケノコは重点品目として

検査を強化し、安全な食材の提供に努めていきます。

測定協力:みずほ消費者モニター

測定責任者:株式会社みずほ 生産研究部長 高橋広樹(090-2442-1459)

※測定を見学されたい方は、高橋までご連絡下さい。